

2009年度第3四半期 決算説明会資料

2009年12月17日

株式会社 

第3四半期概況

2009年度 第3四半期業績概況

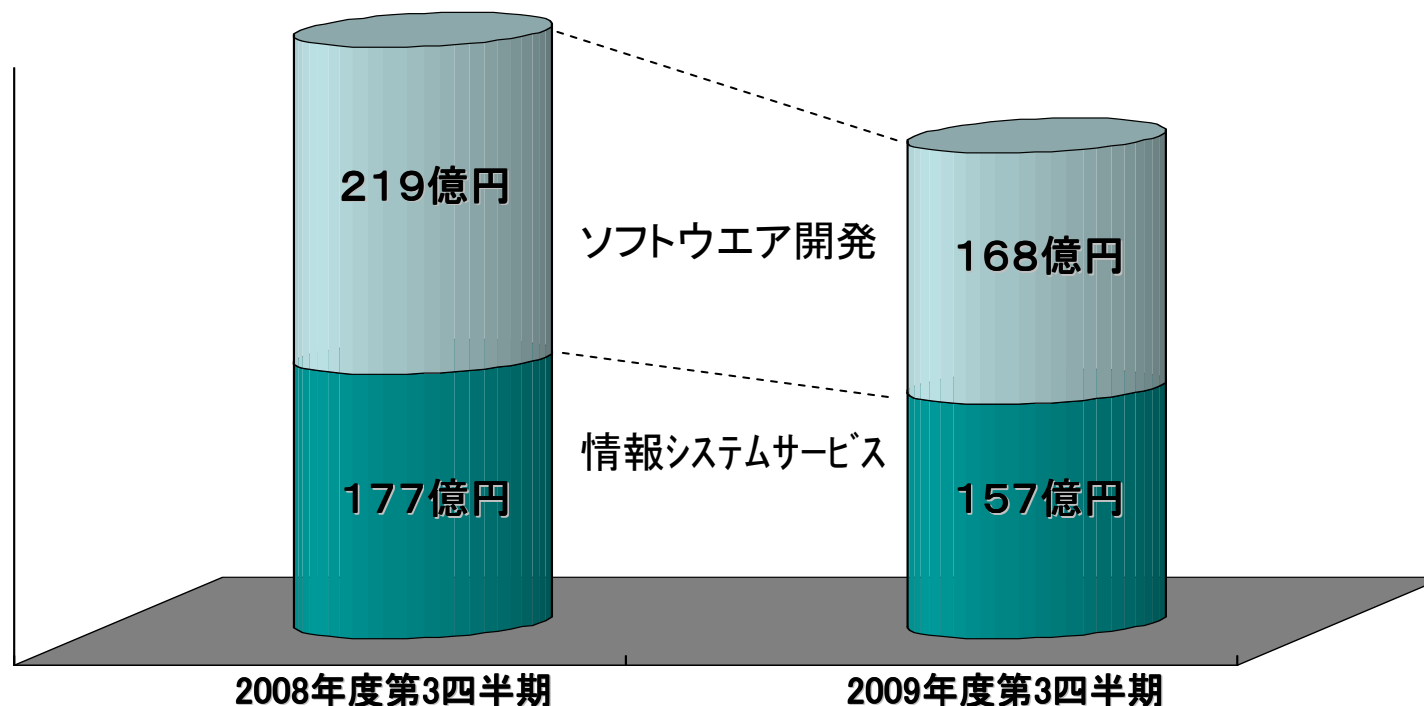
(單位:百万円)

	2008年度 第3四半期	2009年度	
		第3四半期	前年差額
売上高	39,644	32,511	△7,133
営業利益	1,888	△1,183	△3,071
(営業利益率)	4.8%	—	—
経常利益	1,915	△1,203	△3,118
(経常利益率)	4.8%	—	—
当期純利益	572	△1,366	△1,927
(当期純利益率)	1.4%	—	—

2009年度 第3四半期のポイント

■ 売上高 325億11百万円 営業損益 11億83百万円
 売上高 前年比 71億円減、営業利益 前年比 31億円減

- ソフトウェア開発事業 168億円(前年比 51億円 23%減)
- 情報システムサービス事業 157億円(前年比 20億円 11%減)

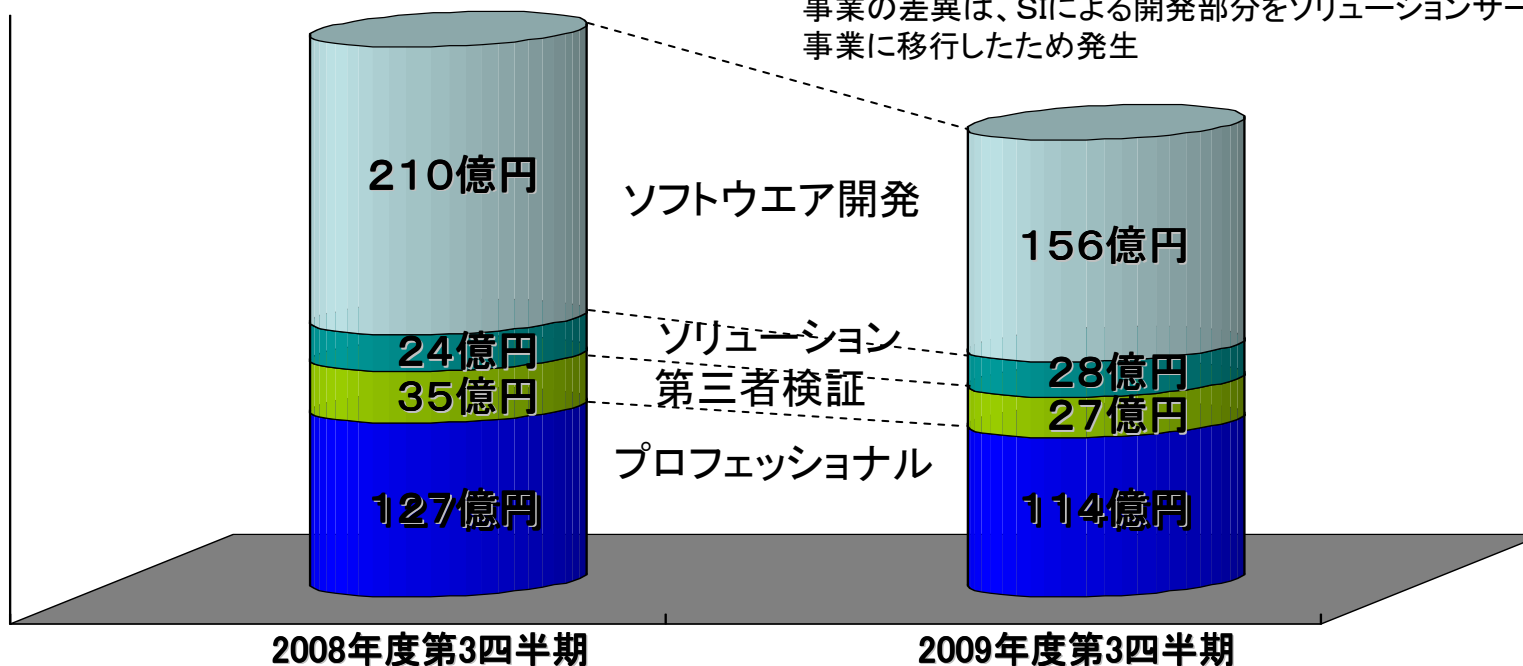


2009年度 第3四半期のポイント

◆新規セグメント

➤ソリューションサービス事業	28億円(前年比 4億円 17%増)
➤第三者検証サービス事業	27億円(前年比 8億円 23%減)
➤プロフェッショナルサービス事業	114億円(前年比 13億円 10%減)
➤ソフトウェア受託開発事業	156億円(前年比 54億円 26%減)

※ソフトウェア受託開発事業と旧セグメントのソフトウェア開発事業の差異は、SIIによる開発部分をソリューションサービス事業に移行したため発生



2009年度 第3四半期のポイント

■利益

- ◆景気悪化に伴う受注・売上減(特に製造業、金融業)
- ◆不採算プロジェクトの拡大
- ◆省エネビジネス関連無形固定資産評価損(特別損失)

▶売上総利益	前年比 30億円減	
・売上減少に伴う利益減		14億円
・不採算プロジェクトによる原価増		8億円
・棚卸し資産の評価減		3億円
・値下げ等		5億円
▶特別利益		
・双日システムズ 株式売却益		2億円
▶特別損失	前年比 4億円増	
※主要損失の内訳		
・のれん代一括償却		3億円
・省エネビジネス関連評価損		3億円

2009年度 業績予想修正について

2009年度 通期業績予想

(単位:百万円)

	2009年度 前回予想(9/14)	2009年度	
		通期予想	差額
売上高	44,000	43,000	△1,000
営業利益	100	△700	△800
(営業利益率)	0.2%	— %	— %
経常利益	100	△800	△900
(経常利益率)	0.2%	— %	— %
当期純利益	△950	△1,400	△450
(当期純利益率)	— %	— %	— %

2009年度 通期業績修正の要約

■売上高

- ソフトウェア開発分野を中心に、受注縮小により10億減

■営業利益

- 金融業、製造業分野の売上減少の影響で2億円減
- 不採算プロジェクト2案件の赤字拡大し2億円減
- グループ会社の収益が悪化し4億円減(不採算1億円含む)

■特別損失

- 構造改革費用として3億円計上

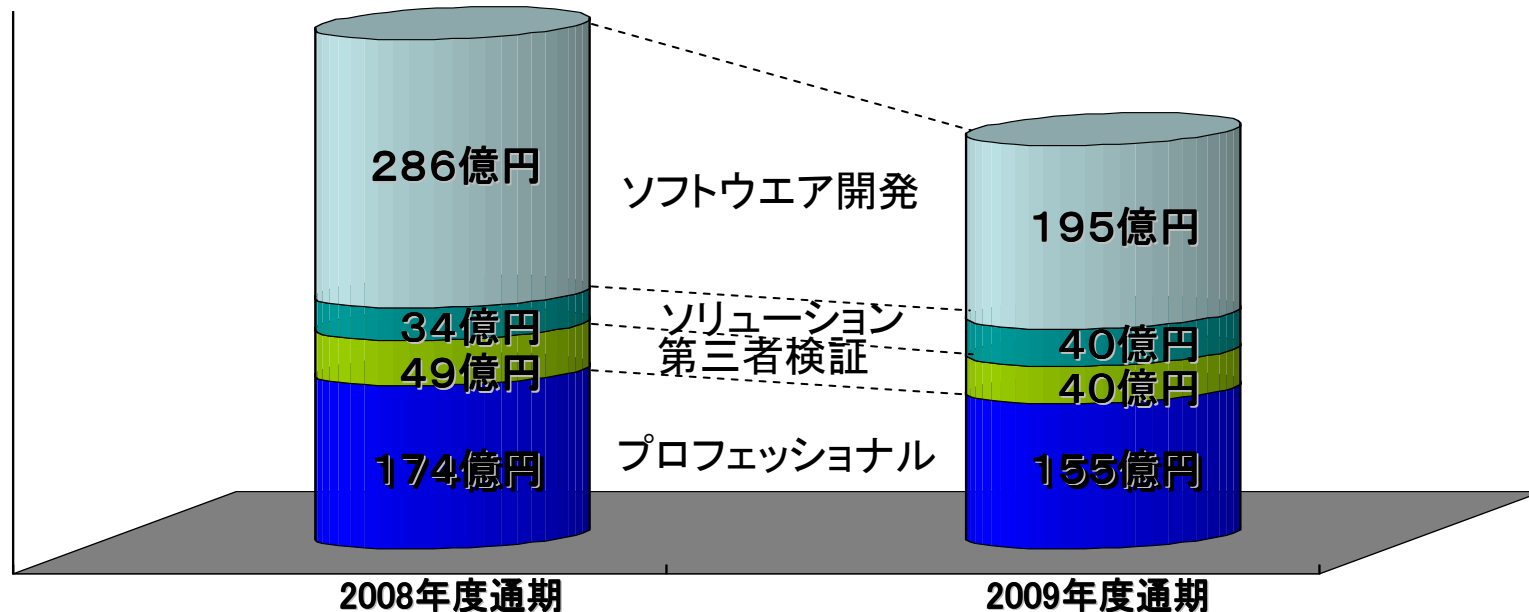
2009年度 通期業績のポイント

■売上高 430億円 営業損失 7億円

売上高 前年比 113億円 営業損益 35億円減

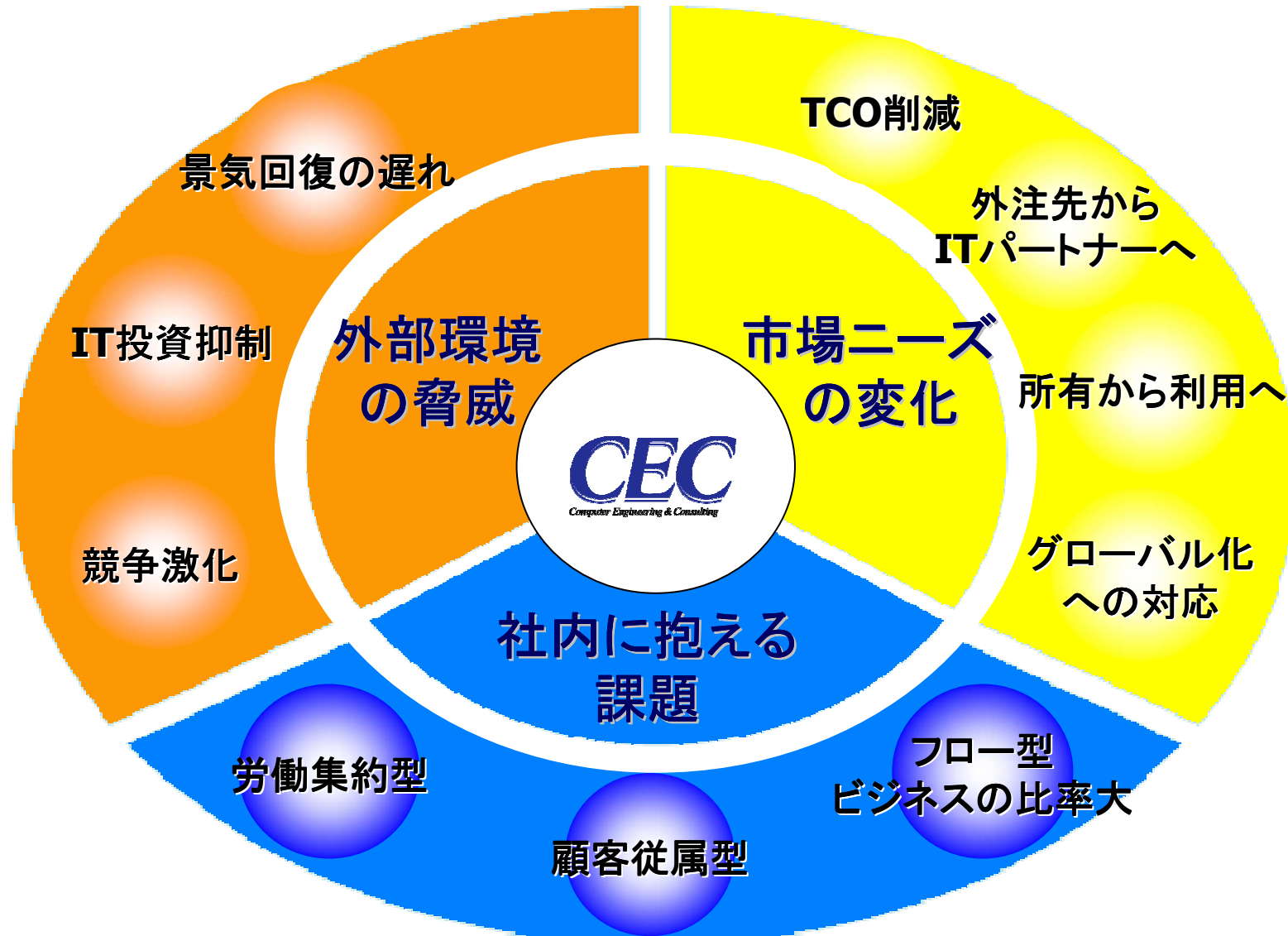
◆新規セグメント

➤ソリューションサービス事業	40億円(前年比 6億円 18%増)
➤第三者検証サービス事業	40億円(前年比 9億円 18%減)
➤プロフェッショナルサービス事業	155億円(前年比 19億円 11%減)
➤ソフトウェア受託開発事業	195億円(前年比 91億円 32%減)



新中期経営計画 基本方針 2010年度～2014年度

シーイーシーを取り巻く環境



基本方針

1 サービスビジネスにシフト

- ITサービスのプロフェッショナルカンパニー
- ITサービス分野の収益比率を70%へ拡大

2 数値目標(2010年度～2012年度)

- 営業利益 20億円への早期回復

3 施策

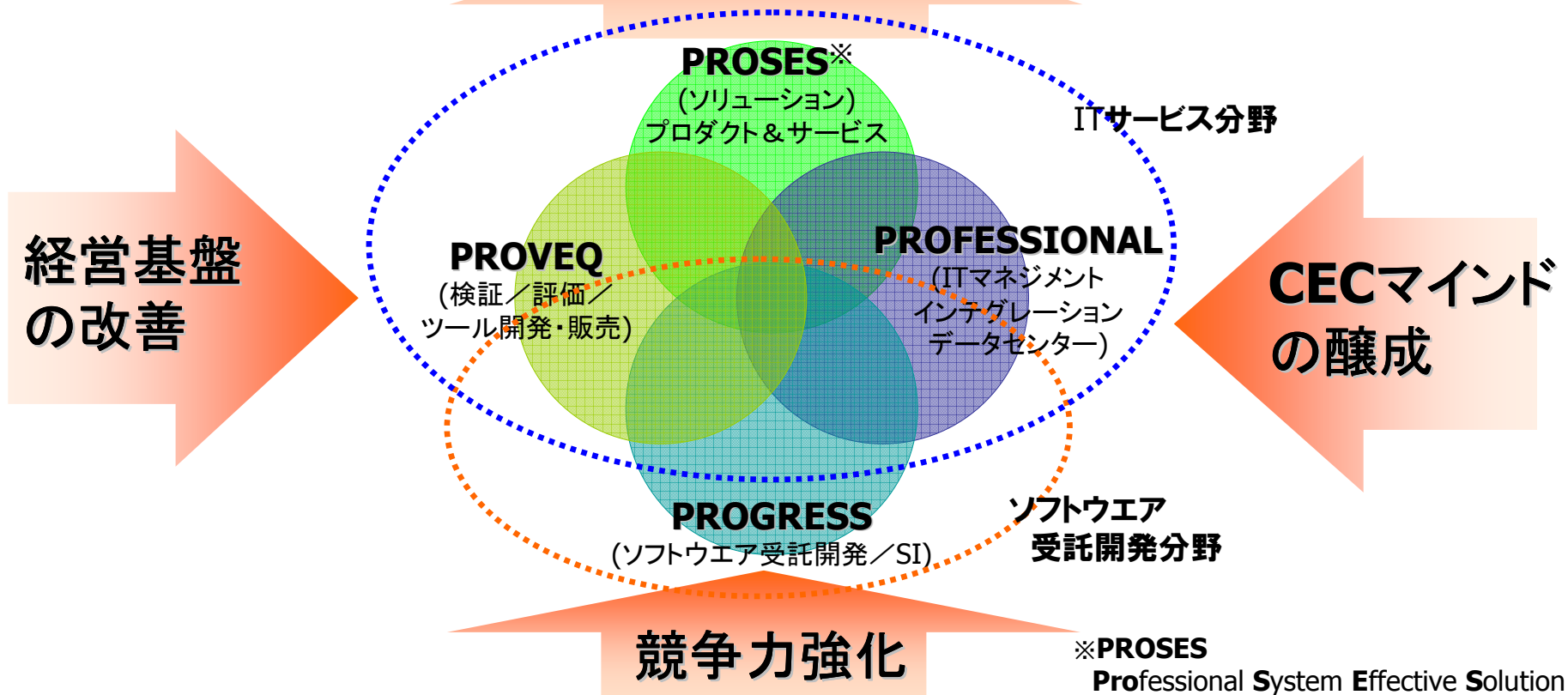
- 競争力の強化／経営基盤の改善／CECマインドの醸成

1. サービスビジネスにシフト

ITサービスのプロフェッショナルカンパニー

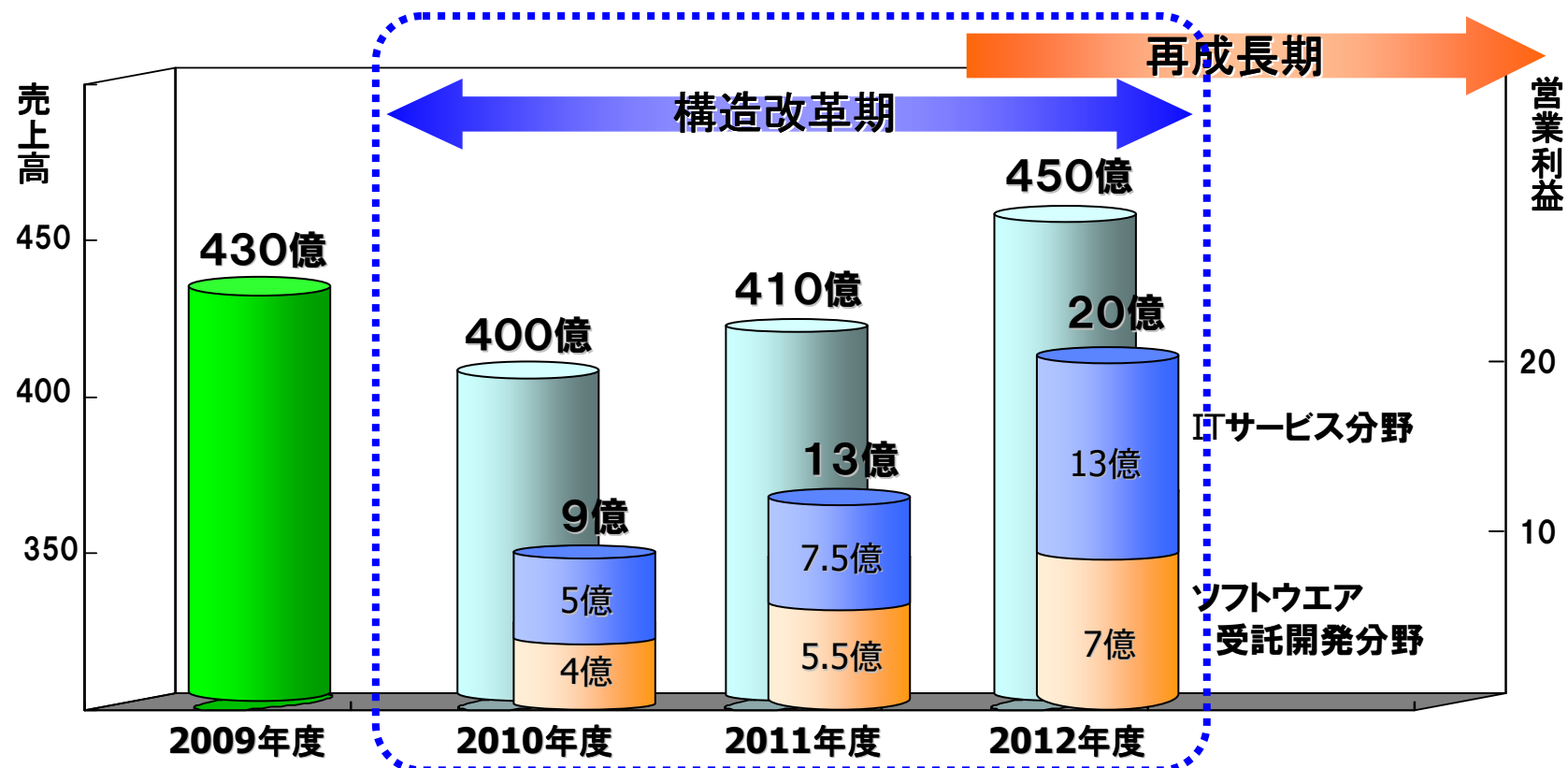
お客様の真のニーズを掴み期待を超えたITサービスと成果を提供

サービス化、ストック化、プロフェッショナル化



2. 数値目標(2010年度～2012年度)

- 2010年度～2012年度は構造改革を推進
- ITサービス分野の収益比率を65%、2014年度70%を目指す
- 営業利益 20億円に回復、再成長期にシフト



3-1. 施策

■ 2010年度～2012年度 構造改革期

競争力強化

- ◆ スtock比率の向上(30%→50%)
- ◆ 自社開発製品及びサービスの計画的な市場投入
- ◆ 開発手順の再整備と効率化の検証
(技術力強化、部品化、テンプレート化の推進)

経営基盤の改善

- ◆ 開発環境の再整備
- ◆ 販管費の見直し
- ◆ 人事諸制度の整理と運用の見直し
- ◆ グループ会社の再編
- ◆ アライアンス強化

CECマインドの醸成

- ◆ シーイーシーブランド再構築
- ◆ 有資格者100%の知識集団への飛躍
- ◆ 社員一人ひとりが魅力を感じる企業環境づくり

3-2. 施策

PROFESSIONAL

ITリソース活用の最適化を実現
するサービスプロバイダへの転換

- お客様IT資産活用の最適化
- クラウドサービスの推進
- マネージドサービスの推進

PROVEQ

組込みソフト中心からシステム
全体を対象としたビジネスに注力

- IT全ての工程向けに、様々な品質診断と助言を提供
- 機能テスト、認証取得、互換性検証、開発支援等の品質に関わる作業を支援
- 品質マネジメントに関連するツールの開発・販売

PROSES

自社製品を主役に市場を開拓

- 自社ノウハウを集約し、独自製品サービスの開発・提供
 - ◆SecurePrint！シリーズ
 - ◆RaLCシリーズ
 - ◆ものづくりシリーズ、etc

PROGRESS

成長産業分野の新規市場を開拓

- 業務ノウハウや要素技術を核としたソフトウェア開発やSIの提供
 - ◆医療分野
 - ◆生産物流分野
 - ◆カーエレクトロニクス分野、etc



【お問合せ先】

株式会社シーイーシー

経理部 IR担当	046-252-4111
広報室	03-5789-2442

- 本資料は、投資を勧誘する事を目的として作成されたものではありません。
- また、本資料に記載しております将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、変動する可能性がある事をご承知おきください。